

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月31日

事業所名 地域支援センター第2わとと

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	0	車いすを外に出したりなど少しでも広く使えるようにしている	スペースをより広く使えるために物の配置を工夫していけたら
	2	職員の配置数は適切である	1	0	利用数によって職員配置を変えている	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	0	1日の流れを絵や文字でボードに書いたり、トイレのドアにはトイレの絵を張ったりなどわかりやすい工夫をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1	0	毎日清掃、消毒をし、清潔を保っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	0	毎月職員会議にて確認しています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	月1回職員会議にて確認しています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	0	HPにて公表しています	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0.5	0.5		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	0	虐待研修、発達障害研修等随時行っています	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	1	0	職員間で話し合い、意見を出し合っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0.75	0.25	できる限りに方と面談を行っています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1	0	項目を選択し、支援内容を考えています	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1	0	行っています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	0	意見を出し合いながら活動を決めています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	0	利用児童によっても活動を考えたりしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	1	0	個々の障害特性等を配慮しながらサービス計画を作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	0	朝のミーティングを毎日行っています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	0	終わりのミーティングを毎日行っています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	1	0	項目を細かく分けて日々の記録をしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	1	0	定期的に行っています	会議を開き、より細かくサービス計画を振り返り見直していけたら
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	1	0	児発管が中心となり連絡を取り合っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	0.25	0.75	電話等で連絡を取り合い、連携しています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0.5	0.5	現在対象児はおられません	必要な場合随時関係機関と連携を取ってあげたいと思います
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0.25	0.75	保護者を通じて主治医と連携を取り、協力医療機関も設置し連絡体制を整えています	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0.25	0.75		今後保育所と連携させていただく予定です。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	1	まだ移行される方がいない状態です	今後情報共有を図っていけたらと思います
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0.75	0.25	見学に行かせていただいたりしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1		現在新型コロナで交流等は難しい状況ですが、今後様々な交流する機会があれば積極的に参加していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0.75	0.25	参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	1	0	連絡長、送迎時、電話等で随時連絡を取り合っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	1	現在は行っていません。	必要と感じた児童に対しては検討していけたらと思います。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	0	契約時行っています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	1	0	説明を行ったうえで同意を得ています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	1	0	日々の連絡時や面談の時などに行っています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0.25	0.75	現在は行えていません	保護者同士が接する場を作っていければ
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	1	0	随時対応しています	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	0	毎月発行しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	1	0	十分注意しながら支援に当たっています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	1	0	連絡帳には文章だけではなく、毎回活動時の写真を複数枚貼り、より伝わりやすいように工夫しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0.75	0.25	地域のボランティアの方には来ていただいています。	行事に地域の方を招待することはできていないので、今後検討していきたいと思えます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	0.75	0.25	ファイルにまとめています。	職員、保護者に周知していけるよう工夫していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	0.75	0.25	定期的に避難訓練を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	0	面接時保護者の方から確認を取っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0.5	0.5	面接時保護者の方から確認を取っています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	0	ヒヤリハット報告書を作成し、日々のミーティング、会議等で共有しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	0	定期的に虐待研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	0	身体拘束について説明した上で同意書をいただいています。やむを得ない場面について必要最小限の身体拘束を行う場合があることを支援計画に記載し、行った場合は記録に残しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。